

街の歴史を変えた 五十鈴御殿



山口の夏の風物詩…祇園祭。にぎわう豎小路。

この五十鈴御殿が山口の町に大きな影響を与えた出来事があります。山口最大の祭りといえば、室町時代から続く山口祇園祭です。街なかにある御旅所へ祇園社から神輿や山車が幸する祭りです。江戸時代は近隣の村々が協力しており、相当にぎわったそうです。江戸時代、祇園社は山口大神宮境内にありました。神輿は五十鈴御殿の前の道を通ってました。

元昭が残した宝物 野田神社能楽堂



野田神社能楽堂。写真は平成26年の薪能の様子。

いま、山口では夏になると薪能が催されています。その舞台となるのが野田神社能楽堂です。野外にある能楽堂は西日本では珍しいものです。この能楽堂は、明治維新70周年の記念に、昭和11年毛利元昭が造営して、野田神社に寄進したものです。もともと野田神社での能は、明治7年に、毛利敬親の神霊を慰めるために始まったものです。それがいまでも続いているということは、山口の町に維新が今でも息づいている証拠です。

歴史を伝え継ぐ 元昭の碑文



山口市内には明治維新を記念した石碑がいくつも建っています。そのうち、次の3つに元昭が関わっています。采島又兵衛 顕彰碑【亀山公園】禁門の変で戦死した藩士の雄姿を讃えたもの。明治36年(1903)7月に建立。題字は毛利元昭。撰文は井上馨、書は野村素介です。七卿落 顕彰碑【井上公園】八・一八政変の後、長州に落ちのびた七人の御公家さんを讃えたもの。大正14年(1925)に建立。題字は閑院宮載仁。撰文は毛利元昭、書は野村素介。この長い文章は元昭が作ったものです。周布政之助 顕彰碑【周布公園】革新派として活躍した周布政之助の功績を讃えたもの。昭和6年(1931)9月に建立。書は毛利元昭。「嗚呼長藩柱石周布政之助君碑」と書いてあります。

菜香亭サポーターズワークショップ事業 夏休み寺子屋シリーズ

8月1日(土)、講師に書家の村上真実さんを迎えてうちわ作り教室を開催しました。学校の習字の時間も少なくなり筆に墨を含ませて書く経験は貴重なものになってきました。まず、基本的な筆の使い方を学び、夏休みの習字の課題を練習しました。それからうちわ作りをしました。花火・ひまわり・かぶとむし・風鈴・金魚・かき氷：夏休みの思い出をいつばいつめてオリジナルのうちわができました。筆で字を書く画面がぐつと引きしまり、粹なうちわができました。



はじめて筆を持つというお子さんには直接手ほどきを…



がんばったところのお話が上手にできました。先生にほめてもらえて、うれしい！

昔なつかしいお手玉教室 脳と心をリフレッシュ

8月9日(日)、講師に「むかしなつかしお手玉会」会長の中村信子さんを迎えてお手玉教室を開催しました。お手玉は1つ、2つと増やして遊ぶ、いろいろなバリエーションで楽しむことを教えていただきました。2歳のお子さんからお母さんおばあちゃん世代が、みんな笑顔いっぱいになって遊びました。

菜香亭市民ギャラリー 利用のご案内

菜香亭の会議室を使って、ご自分の作品を発表しませんか？ 市民の方は利用料が免除されます！
・毎月第2・4週目 水曜日～月曜日
・希望日の2か月前までに申し込みください。
※販売や営業には使えませんのでご注意ください。



料亭菜香亭が明治20年から西洋料理を提供するときに使われた洋風のスペースです。



中村先生と腹話術の「ひろちゃん」は名コンビ。ひろちゃんはみんなの笑顔を見に来たよ！



お手玉を頭にのせて、落とさないように音楽に合わせて…

中村先生はお手玉遊びを通して「生きる素晴らしさ」を伝えたいという思いで活動が続けておられ、その情熱が連日の猛暑もふきとばしてくれているように感じました。

山口市菜香亭だより
西の菜時記
平成27年9月30日発行 第38号
発行元：山口市菜香亭 指定管理者 特定非営利活動法人 歴史の町山口を甦らせる会

山口市菜香亭だより
西の菜時記
平成27年9月30日発行 第38号
発行元：山口市菜香亭 指定管理者 特定非営利活動法人 歴史の町山口を甦らせる会